

おくらまんぼ

♪マンボ♪もいいけど、マンボじゃないよ
おくらまんぼの“んぼ”は
かくれんぼ、おこりんぼ、さびしんぼ…の“んぼ”
ちいさいひと達、子どもたち、の意。
おしりとおしりをくっつけて、押し合いへし合い、
おくらまんじゅうしている子どもたち。
そんなお芝居つくりたい！



2部構成

前半は身体や手や
顔をつかった
表現あそび
後半は
“おはなし”

このお芝居を創るにあたって

ある日突然、大好きな〇〇先生にぎゅっと抱きしめてもらえなくなった。
なかよしの〇〇ちゃんと手を繋げなくなった。
いつもちょっかいを出してくる〇〇君がお母さんにダメって叱られて手を
引っ張られて帰って行った。
まわりの大きい人達がみんなマスクしてるから顔がよく見えなくなって、
怒っているのか、笑っているのか、泣いているのかがよくわからなくて、
???の毎日。
外で思いっきり遊べなくて、触っちゃダメがたくさん増えて。
子どもたちにとって、“それ”は本当に突然やってきた。昨日までの当たり
前がダメになった日。大人もそうだけど、子どもたちにとっては、まさに
世界がひっくり返るくらいの衝撃だったのではないかと思う。
それでも、彼らは(人間は)順応性が高いので、ちゃんと慣れていく。きつ
と、マスク越しの表情を読み取り、まわりの大人達の言っている事を理解
し、制限された中でも新しい遊び方を生み出し、たくましく生きていく。

でも、と思う。そうやって彼らに甘えていいのか？ガマンする事に慣れさ
せていいのか。いや、ガマンする事がこれからは次の“当たり前”になっ
ていく？それは、やっぱりイヤだ。もちろん、“いのち”が一番大事。そして、
同じくらい“こころ”も大事。ぎゅっとくっついて、相手のぬくもりを感じ
たり、逆にイヤだなと思ったら、人の成長にとって必要不可欠な
こころの動きだと思うから、やっぱりそれはやめたくない。
人はつながってこそ人だから。いろんな価値観、いろんな考え方はあるけ
れど、こうして発信し、対話していく事が、今は大事な時だと思う。
そんな事を話しながら、この芝居の根っこは生まれました。
人は、こどもは、人間は、くっついてなんぼ！
だから、今こそ、おくらまんぼ！